

# 平成 31 年度事業計画書

社会福祉法人 堤福祉会  
幼保連携型認定こども園つつみこども園  
特別養護老人ホーム三陸園  
在宅複合型施設ゆーらっふ  
特別養護老人ホームらふたあヒルズ

理念を実現するための

# つつみこども園の人事ビジョン

子ども・親・家庭・団体・地域を包みこみ、相手を思いやる職員

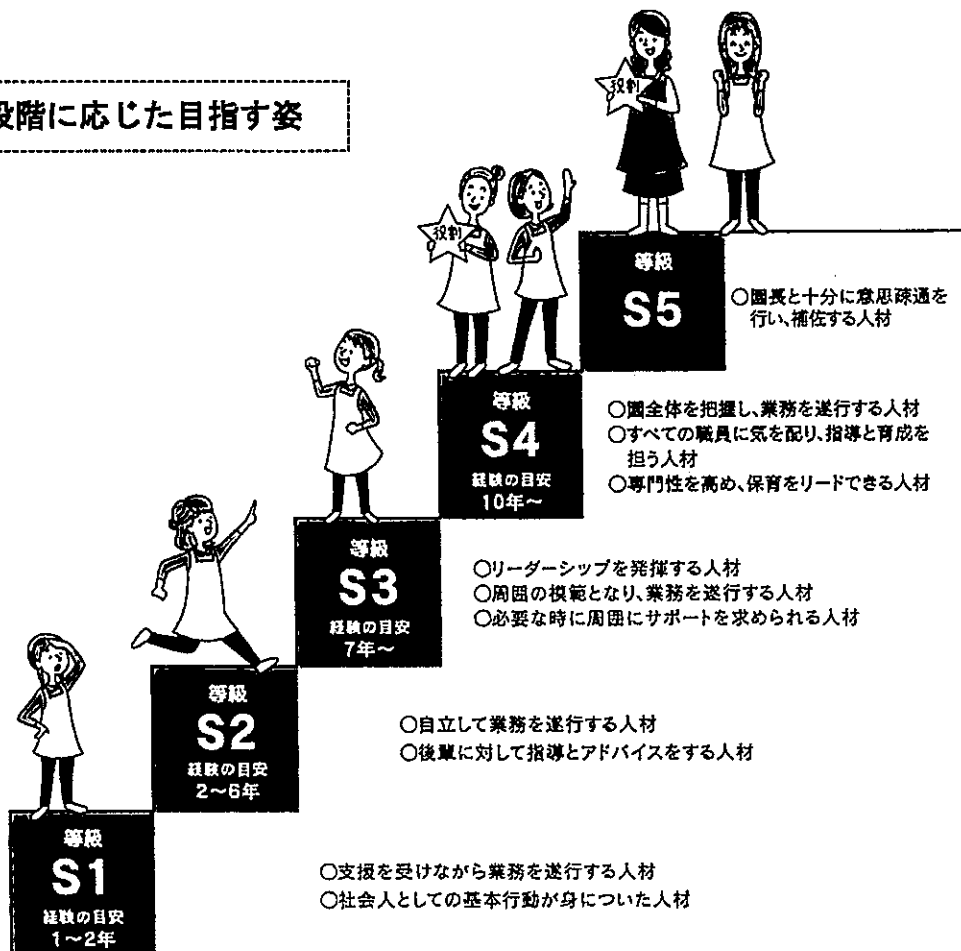
●包みこむ・・・園名が「堤」から「つつみ」になり、地名の意味を越え

子どもや親、そして地域を包みこみ、寄り添える園と職員を目指す

自己研鑽ができ、心身ともに健康な職員

社会人として責任を持ち、信頼される職員

## 経験段階に応じた目指す姿



認定こども園つみこども園 平成31年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 (編纂作成:園長 芳賀カンナ)

<p><b>目的</b></p> <p>乳幼児の子どもの発達を促進し、家庭との連携を共に成長を促し、遊戯に開かれた保育園を自覚し、乳幼児の教育・保育を行うにつれ、家庭以上の子どもに対する幼児教育・保育環境に携わる目標が達成されるよう、教育を行うことを目的とします。</p>	<p><b>方針・保育方針</b></p> <p>豊かな人間性をもち、自立した人間性を持ち、一人ひとりが自立した人間として未来を生きる力を育む。</p>	<p><b>子どもの教育及び保育目標</b></p> <p>(乳幼児の発達目標を踏まえ、各年齢に応じた目標を設定する。)</p>	<p><b>1歳児</b></p> <p>乳児 生理的欲求を満足し、生活リズムをつかむ</p> <p>1歳児 行動範囲を広げ探索活動を盛んにする</p> <p>2歳児 象徴的遊戯や造形活動を広げながら集団活動に参加する</p>	<p><b>3歳児</b></p> <p>身近な仲間や自然等との関わりを通して、心身ともに健やかに育まれるよう活動的に関わり、意欲を持って活動する</p> <p><b>4歳児</b></p> <p>信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする</p> <p><b>5歳児</b></p> <p>集団生活の中で自立し、意欲的に活動し、体験を通じた学習を行う。</p>	<p><b>1歳児(満1歳以上)</b></p> <p>●生活リズムの形成を促す</p> <p>●適切な発達の観察を促す</p> <p>●情緒的な成長を促す</p>	<p><b>2歳児(満2歳以上)</b></p> <p>●多様な遊びによる行動範囲の拡大</p> <p>●周囲の人への興味、関心の広がり</p> <p>●社会性やコミュニケーション能力の育成</p>	<p><b>3歳児(満3歳以上)</b></p> <p>●意欲的な活動</p> <p>●基本的な生活習慣の確立</p> <p>●社会性やコミュニケーション能力の育成</p>	<p><b>4歳児</b></p> <p>●意欲的な活動</p> <p>●基本的な生活習慣の確立</p> <p>●社会性やコミュニケーション能力の育成</p>	<p><b>5歳児</b></p> <p>●意欲的な活動</p> <p>●基本的な生活習慣の確立</p> <p>●社会性やコミュニケーション能力の育成</p>
<p><b>事業 園 (保育活動内行事)</b></p> <p>※行事は三つの視点(1.生活リズム、2.社会性、3.表現力)を踏まえ、各年齢に応じた目標を設定する。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>
<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>
<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>	<p><b>子育て支援</b></p> <p>子育て支援センターや子育て支援センター等を活用し、子育て支援を行う。</p>



### 3. 三陸園の目標と計画

#### ◇総務

目 標	計 画 内 容
◇接遇意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接遇対応の基本的な心構えを身に付け、気持ち良い対応を心がける</li> <li>・ 基本姿勢の確認の徹底</li> <li>・ 利用者、業者のニーズに対応できる知識を得る</li> <li>・ 状況判断力を身につけ、日々の業務を遂行する</li> <li>・ 利用者、家族、他事業所からの連絡などの確に伝達しサービスの向上につなげる</li> <li>・ 個々に月毎の業務を計画し遅滞なく遂行する</li> </ul>
◇情報伝達の重要性	
◇業務の効率化	

#### ◇三陸園生活相談員

目 標	計 画 内 容
◇利用者のニーズに応じた相談業務を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務分析を行ない、基本的な業務管理の確立を目指す</li> <li>・ 自己の目標・計画を定め業務の遂行を図る</li> <li>・ 利用者との懇談の機会を定期的に持ち、ニーズの充足を促す</li> <li>・ 利用者の状況を迅速に家族へ伝達し、利用者・家族との信頼関係を築く</li> <li>・ 関係各機関との連携、施設内各セクションとの連携を密にする</li> <li>・ 入所希望待機者の状況を把握し情報提示を行える。</li> <li>・ 職員指導、研修を通しケアスタッフ一人ひとりの資質向上に繋げる</li> <li>・ 介護力向上に向けた取り組みのサポート</li> <li>・ カンファレンス、ミーティング情報の共有化</li> <li>・ 個人の尊重・ふれあい・思いやりのある対応を心掛ける</li> <li>・ 定期的な業務マニュアルの確認</li> <li>・ 職員間の調整</li> <li>・ リーダー、サブリーダーの育成（研修会の開催等）</li> </ul>
◇施設サービスの向上	

#### ◇三陸園介護支援専門員

目 標	計 画 内 容
◇利用者のニーズに応じた相談業務を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者との懇談の機会を定期的に持ち、ニーズの充足を促す</li> <li>・ ケアマネジメントの一連の流れがスムーズに行える体制を確立すると共に、各他職種や家族との調整を図る</li> <li>・ カンファレンス、ミーティング情報の共有化</li> <li>・ 個人の尊重・ふれあい・思いやりのある対応を心掛ける</li> <li>・ 介護保険制度の習得</li> </ul>
◇施設サービスの向上	

### ◇三陸園ケアリーダー

目 標	計 画 内 容
◇職員の資質向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員指導、研修を通しケアスタッフ一人ひとりの資質（技術）向上に繋げる</li> <li>・ 介護力向上に向けた取り組み</li> <li>・ 関係職種との連携（報告、連絡、相談）調整</li> <li>・ 業務分析を行い、調整を図る</li> <li>・ リーダーとしてのスキルアップ・研修参加・自己研鑽</li> </ul>

### ◇栄養士

目 標	計 画 内 容
◇食事サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嗜好調査の実施→献立への反映（年2回／6月・12月）</li> <li>・ おやつ提供（土曜日月1回、季節にあったもの）</li> <li>・ 季節に合った企画の立案・実施</li> <li>・ 利用者が安心・楽しみにできるお茶の会開催（毎月第2・第3木曜日の午後）</li> <li>・ 厨房内作業の確認</li> <li>・ 食数確認（毎月7日・14日・21日・28日・31日）</li> </ul>
◇食べる楽しみを持ち続けていただく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養ケア計画を作成し、個別の栄養管理に努める</li> <li>・ 各職種との連携を図る（各種会議の参加等）</li> <li>・ 食事時ミールラウンドの実践・口腔ケアの関わり</li> </ul>
◇接遇マナーの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 礼節を意識した来客対応、確実な電話対応</li> </ul>

### ◇三陸園ケアスタッフ

#### — 全体目標 —

一人ひとりが笑顔で、安心した生活を送れるよう支援します。

目 標	計 画 内 容
◇職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所者にとっての幸せとは何かを考える</li> <li>・ 介護技術、知識の習得と向上（スタッフ内研修の充実）</li> <li>・ 職員間（各セクション）の報告、連絡、相談の徹底</li> <li>・ 個々に目標を設定し、自分自身の向上をめざす</li> <li>・ 礼節の徹底</li> </ul>
◇個別ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護力向上に向けた取り組み</li> <li>・ ケース担当としての責任を持ち身体面 精神面のニーズを捉え、ケアプランに反映させる</li> <li>・ 利用者への歩み寄り、声に耳を傾け利用者を知る</li> <li>・ ケアプランに沿った個々のケア向上を達成する</li> <li>・ 身体、環境の清潔を保つ</li> <li>・ 利用者一人一人を尊重し、利用者主体のサービスの提供</li> <li>・ コミュニケーションの充実</li> <li>・ 身体拘束のない暮らしの提供</li> <li>・ 時間に流されず余裕を持つための対応</li> <li>・ ミーティングの充実</li> </ul>
◇御家族との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間行事に合わせて、御家族と利用者さんとの交流を開催する。</li> <li>・ 面会時の状態報告の徹底。</li> <li>・ 面会規制の時も御家族と利用者さんの情報を共有する。</li> </ul>
◇看取り介護の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看取り介護の指針についての習得</li> <li>・ カンファレンスの充実、内容（情報）の共有</li> <li>・ ニーズに応じた対応</li> <li>・ ご家族との関わり</li> </ul>

## ◇医 務・機能訓練指導員

目 標	計 画 内 容
◇利用者が笑顔で生活できるよう健康維持に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の健康状態の把握</li> <li>・ 定期健康診断の実施…血液検査、胸部 X 線</li> <li>・ 感染予防と対策 インフルエンザ 予防接種、環境整備、手洗い・うがいの徹底</li> <li>・ 内服薬の管理</li> <li>・ 配置医との連携</li> <li>・ カンファレンス参加（他職種との連携）</li> <li>・ 歯科医師との連携（1 回/月）</li> <li>・ 口腔ケア研修（1 回/年）</li> </ul>
◇職員個々が健康管理出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタッフ内研修の開催（インフルエンザ、ノロウイルス他）</li> <li>・ 職員の健康診断年 2 回実施（後期は夜勤者のみ）</li> <li>・ インフルエンザ 予防接種、検便</li> </ul>
◇看取り介護の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健衛生指導の実施</li> <li>・ 緊急対応、酸素吸入、吸引、バイタル測定、観察、緊急時連絡の為の研修</li> <li>・ 利用者の健康状態の家族への説明（終末期、園長・相談員・看護師とで協議）</li> </ul>
◇看護知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看取り指針に沿った看護対応の実施</li> <li>・ 医務内研修（疾病及び看護師技術の向上）</li> </ul>
◇スタッフ意識・技術の向上の徹底と継続維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不活発な生活や安静で起きる心身機能の低下が介護度進行につながるため、個々に合った ADL 自立の方向性を意識できるように指導する（最終的に「出来る活動」を「している活動」として目指す）</li> <li>・ 福祉用具の適切な選択と使用方法、使い分け等指導していく</li> <li>・ 定期的に勉強会を行なう（年 2～3 回）</li> <li>・ 記録の充実を図る</li> <li>・ 各ユニットで行なっている体操の個別的充実を図る</li> </ul>
◇利用者が快適に過ごすことができる訓練プログラム作成および実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の基本動作 ADL を把握し評価表プログラムを作成する</li> <li>・ 多職種と連携し、個々に合わせたプログラムを実施する</li> </ul>

## ◇レクワーカー

目 標	計 画 内 容
◇残存機能の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加齢と共に低下してくる身体機能や精神状態を受け入れながら、楽しさの体験を積み重ねる中で自信回復を目指す</li> </ul>
◇活動の継続性の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の利用者把握と事例検討に関する事</li> <li>・ 各事業所毎のレクリエーションの取り組みと指導 （三陸園・ゆーらっぷ（SS、DS）・らふたあ・ぬくっこ）</li> <li>・ 行事への参加</li> <li>・ 季節ごとの装飾と制作</li> </ul>
◇地域交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリ体操の継続（365 歩のマーチ他）と色々な健康体操を取り入れる。</li> <li>・ 保育園児とのふれあい会（にこにこ広場）</li> <li>・ サポートセンター、児童生徒との交流</li> </ul>

## ◇給 食

目 標	計 画 内 容
◇美味しく、喜ばれる食事作り	(栄養調理) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節感のある食材や全国の郷土料理などを取り入れた献立作成と、利用者様に好まれるような食事を提供します。</li> <li>・ 栄養摂取基準に基づいた食事の提供を行います。</li> <li>・ 利用者様との関わりを通して利用者様の声を献立に少しでも反映します。</li> </ul>
◇安全・衛生管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事やイベント食の企画実施</li> <li>・ 衛生講習会の実施（年2回）</li> <li>・ 衛生担当員による巡回指導（月1回）</li> <li>・ 防災についての話し合い・防災訓練の実施</li> </ul>
◇社員教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）の徹底</li> <li>・ 責任者研修会</li> <li>・ 調理実習</li> </ul>
◇接遇マナーの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理実習（厨房勉強会（月1回）</li> <li>・ 明るく元気な対応とあいさつ</li> </ul>

## ◇衛生・管理・宿直

目 標	計 画 内 容
◎ 管理 ◇年間を通じて営繕を強化する。 ◇利用者、家族へ関わる職として適切な対応で接する。 ◇古くなったものを新しいものに蘇生させる意気込みで行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故防止の為に、建物設備環境の安全性に気を配る</li> <li>・ 礼節を十二分に心の中においた行動を心掛ける</li> <li>・ 施設整備の改善と営繕に努める</li> <li>・ 利用者の快適性を配慮する</li> <li>・ 利用者が自立の為に必要な設備・器具をいつでも使用できるように配慮する</li> <li>・ 設備はいつでも使用できる状態に整備しておく</li> </ul> ※毎月定例点検項目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浄化槽の衛生管理点検（毎週）・地下タンクの油漏れ等の点検（毎週） ・車両等点検（随時）</li> <li>・ 排水路、排水口の泥、落ち葉等の除去（月一回）</li> <li>・ 消火器、火災報知気等の消防用設備点検（月一回）</li> <li>・ 建物設備点検（月一回）</li> </ul> ※運転業務項目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の入所、退所時の送迎</li> <li>・ 利用者の通院送迎、又は通院介助行事等の準備</li> </ul>
◎ 衛生 ◇常に施設内外の清潔、異臭の除去、環境美化を意識し、利用者が毎日、安全で快適な生活が送れるように努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内の掃除の徹底</li> <li>・ 三陸園側：年1回大掃除 ゆーらっぶ側：全園内（2階）大掃除</li> <li>・ ガラス拭き、車椅子、ベット掃除等備品の掃除を定期的実施する</li> <li>・ 施設周辺的环境美化に努める</li> <li>・ 各職種との連携を図り、協力し合う</li> </ul>



## 4. 2020 年度ゆーらっぷ短期入所生活介護事業所計画

### ゆーらっぷ短期入所生活介護事業所目標

1. 在宅を意識した個別ケア・自立支援の実践
2. 『ふれあい』『思いやり』のある対応を心掛ける
3. 自らの役割に責任を持ち、専門性の向上に努める

### 職種別目標

#### ◇生活相談員

目 標	計 画 内 容
◇ 施設サービスの質の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね 4 日間以上の利用される方のケアプランを作成し、サービス内容・サービスの目的を明確にし、実践する</li> <li>・ 在宅からの情報を的確に施設へ伝達し、施設サービスの質の向上に結びつける</li> <li>・ 自己の目標・計画を定め業務の遂行を図る</li> <li>・ 利用の際の本人・家族への説明の徹底およびリスクマネジメント・システムの構築を図る</li> <li>・ 季節を感じ楽しい生活を送ってもらえるような企画の計画</li> <li>・ リーダーサブの育成</li> </ul>
◇ 利用者のニーズに応じた相談業務を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者およびご家族との懇談の機会を定期的に持ち、利用者・ご家族のニーズの充足をする</li> <li>・ 利用者の状態を状況に応じて迅速にご家族へ伝達・報告し、利用者・ご家族とのつながりを密にする</li> </ul>
◇ 接遇マナーの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係各機関との連携、施設内各セクションとの連携を密にする</li> <li>・ 利用者・ご家族に対し、相談員としてふさわしい対応を心掛ける</li> </ul>
◇ 業務の見直し・整理に努め、業務の円滑化・簡素化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の尊重・ふれあい・思いやりのある対応を心掛ける</li> <li>・ 業務の見直し・整理に努め、業務の円滑化・簡素化を図る</li> <li>・ 関係各機関およびスタッフ間の報告・連絡・相談の徹底</li> </ul>

#### ◇医 務

目 標	計 画 内 容
◇ 体調不良の早期発見、必要時受診の促し。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所時家族からの情報収集</li> <li>・ 利用者の健康状態の把握</li> <li>・ 受診時、主治医・協力病院との連携</li> <li>・ 感染予防と対策（手洗い・うがいの徹底、その他の消毒の徹底、予防接種、胸部 X-P 実施の確認）</li> <li>・ カンファレンスの充実に努める</li> </ul>
◇ 職員各々の健康管理出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の健康診断年 2 回実施（後期は夜勤者のみ）</li> <li>・ インフルエンザ予防接種、検便</li> <li>・ 保健衛生指導の実施</li> </ul>
◇ 看取り介護の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看取り指針に沿った看護対応の実施</li> </ul>
◇ 看護知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医務内研修（疾病及び技術の向上）</li> <li>・ 外部研修への参加</li> </ul>

## ◇機能訓練指導員

目 標	計 画 内 容
◇スタッフ意識・技術の向上の徹底と継続維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々に合ったADL自立の方向性を意識できるように指導する（最終的に「できる活動」を「している活動」として目指す）</li> <li>・ 福祉用具の適切な選択と使用方法、使い分け等指導していく</li> <li>・ 定期的に勉強会を行なう（年2～3回）</li> <li>・ 記録の充実を図る</li> <li>・ 外部の勉強会、研修、学会へ参加し、知識・技術を向上し現場へのフィードバックを行う</li> <li>・ 専門職として他職種への介護技術の向上や障害予防へのアドバイスを実施する</li> </ul>
◇利用者・利用者家族が快適に過ごすことができる訓練プログラム作成および実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の身体機能、ADL、居宅環境を把握し評価表・プログラムを作成・実施する</li> <li>・ 多職種と連携し、個々に合わせたプログラムを実施する</li> <li>・ 利用者家族への説明（リハビリ指導、環境設定のアドバイスなど）の充実を図る</li> </ul>
◇地域ケアへの関わりの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の現状の把握に努め、町・地域包括との連携を深め、介護予防事業や地域ケア会議などへ参加する</li> </ul>

## ◇ケアスタッフ

### — 全体目標 —

一人ひとりがその人らしく生きられるように援助します

目 標	計 画 内 容
◇職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護技術、知識の習得と向上（スタッフ内研修の充実）</li> <li>・ 職員間（各セクション）の報告、連絡、相談の徹底</li> <li>・ 個々に目標を設定し、自分自身の向上をめざす</li> <li>・ 礼節の徹底</li> </ul>
◇個別ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者一人ひとりの尊厳を守り、その人を中心としたケアサービスの提供</li> <li>・ ケース担当としての責任を持ち、身体面・精神面のニーズを捉え、ケアプランに反映させる</li> <li>・ 利用者への歩み寄り、声に耳を傾け利用者を知る</li> <li>・ ケアプランに沿った個々のケア向上を達成する</li> <li>・ 身体、環境の清潔を保つ</li> <li>・ 利用者一人一人を尊重し、利用者主体のサービスの提供</li> <li>・ コミュニケーションの充実</li> <li>・ 身体拘束のない暮らしの提供</li> <li>・ 時間に流されない気持ちに余裕を持つての対応</li> </ul>
◇在宅の生活をふまえた施設サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者、家族のニーズに対応する</li> <li>・ 在宅からの情報を適切に収集する</li> <li>・ ケアプランに沿った個々のケア向上を達成する</li> <li>・ 入所時は家族への状態の聞き取りをきちんと行う。</li> <li>・ 衣類チェックを行い返し忘れのないようにする。</li> <li>・ 利用中の状態を家族へきちんと伝達する。</li> </ul>

## 5. 2020年度 ゆーらっぷ通所介護事業計画

### ゆーらっぷデイサービスセンター目標

1. 利用者の方々の憩いの場となるように一人ひとりが生き生きと活動する空間を提供します
2. レクリエーション・機能訓練に積極的に取り組みます
3. 身体機能の維持や向上を図りコミュニケーションを広げる機会を提供します

### 職種別目標

#### ◇生活相談員

目 標	計 画 内 容
◇サービスの向上推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス評価を受け、サービス改善を推し進めていくため、企画及び職員間の連絡調整を図る</li> <li>・ 利用者、家族とのアセスメントの機会を定期的に持ち、ニーズの充足を図るとともに相談や調整も重要な課題として取り組む</li> <li>・ 関係各機関との連携を密にし、各セクション、在宅とDSの双方向体制を作る</li> <li>・ 業務マニュアルの作成(定例化・定型化した業務)</li> <li>・ 情報管理のシステム化</li> <li>・ 利用者サービスの見直しと評価</li> <li>・ リーダーの育成(研修開催)</li> <li>・ 利用者・家族に対し、相談員としてふさわしい対応を心掛ける</li> </ul>
◇利用者のニーズにそった相談業務を行なう	
◇専門的サービスの向上を図る	
◇接遇マナーの向上	

#### ◇ケアワーカー

目 標	計 画 内 容
◇通所介護計画書の作成 (通所介護予防計画書)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な勉強会</li> <li>・ アセスメント能力の向上</li> <li>・ 利用者の状態変化に応じた評価・見直し</li> <li>・ 自立支援に向けた介護内容の組み立て</li> <li>・ ケアプラン、及び介護予防計画に沿ったケアを統一し実施する</li> <li>・ 利用者の理解を得る意見交換や家族連携による情報収集</li> <li>・ 利用者個々に合ったレクリエーションの実施・評価</li> <li>・ レクリエーションリーダーとしての技術を高める</li> <li>・ 接遇の向上を図り、専門性の意識を高める</li> <li>・ 介護の知識、技術を高める</li> <li>・ 職員間の報告・連絡・相談の徹底</li> <li>・ 介護保険制度の理解とそれに沿った介護の実施</li> <li>・ 施設内外での研修参加により、個々のスキルアップを図る</li> <li>・ 高齢者疾患の特徴について学ぶ</li> </ul>
◇自立支援に向けた 個別ケアの充実	
◇レク活動の充実	
◇業務に反映できる 職員の質の向上	

#### ◇看護職員 (機能訓練指導員)

目 標	計 画 内 容
◇利用者把握と健康管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身の状況に関する情報確認</li> <li>・ 利用者個々に関する家族からの情報の確認</li> <li>・ 感染症予防と対策</li> <li>・ 機能訓練個別計画作成と実施・評価の記録</li> <li>・ 緊急時対応訓練の実施</li> <li>・ 施設内医務研修の参加</li> <li>・ 生活行為向上支援に併せてリハビリテーションを一体的に行う</li> <li>・ 心身の状況に関するチェックの実施</li> </ul>
◇看護職員知識の向上に努める。	
◇介護予防に努める	

## 6. 平成31年度ゆーらっぷ在宅介護支援センター事業計画書

### 1. 目 標

1. 正確で、豊富な情報を持ち、的確に対応できる情報提供体となる。
2. 専門性と、広い視点を持ち、多様なニーズに応じる総合相談機関となる。
3. 地域ケア支援、介護予防、啓発活動に積極的に取り組み、地域に開かれた生活支援機関となる。

### 2. 運営の目的

1. 地域の要援護となる恐れのある方、介護保険対象外となった方、地域住民等を対象に、適切な支援、介護予防活動、介護方法、制度に関する啓発活動等を行い、地域住民の福祉の向上を図ることを目的とする。
2. 地域の要援護高齢者等及び介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じ、対象者のニーズに対応した各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるように関係行政機関、サービス実施機関との連絡調整、手続き援助等を行うことにより、要援護者及び介護者等の福祉の向上を図ることを目的とする。

### 3. 事業内容

※在宅介護支援事業を介護保険の居宅介護支援事業（指定居宅介護支援事業所）と地域包括支援センターと協力し事業に取り組んでいく。そのことにより、担当地区の高齢者の相談にトータルに対応する。

1. **総合的な相談**
  - 介護保険対象、対象外に関わらず要援護高齢者等及び介護者等を対象とした総合相談に対応する。
  - 地域包括支援センターのブランチの事業所として連絡体制を密にし支援していく。
2. **実態調査**
  - 地域の要援護高齢者等に関する実態把握を行う。
3. **情報収集、情報提供**
  - 保健・福祉・医療についての各種社会資源情報を収集し適切に提供する。個人情報収集管理についても実施していく。
  - 相談協力員（民生委員）・仮設生活支援員と連携をとり情報収集をする。
4. **地域ケアの支援活動の実施**
  - 地域包括支援センター連携を取り家族介護教室等を開催していく。
  - 仮設の談話室等を訪問しお茶会等に参加する。
5. **福祉用具、住宅改修相談**
  - 在宅福祉用具の展示・相談、及び住宅改修相談に応じる。
6. **苦情相談・代弁的機能**
  - 各種サービス、関係機関、介護保険等に関する苦情相談窓口となり、町民の代弁的機能を果たす。

## 『平成 31 年度目標・取り組み課題』

### らふたあヒルズの基本方針

#### “あなたらしい暮らし・そして笑顔”

##### ◇平成 31 年度目標

- ・入居者、家族の意向を反映し「暮らしの継続」を実践する
- ・一人ひとりの暮らしを支える為の介護技術と知識の向上に努める
- ・サークル活動や地域行事を通して、地域に必要とされる施設を目指す

目的	取り組み課題	実施内容
・「暮らしの継続」を実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の暮らしの中で役割、楽しみを引出す</li> <li>・ユニットケアの基本と応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者のアセスメントの実施</li> <li>・家族面談、説明会の実施</li> <li>・実態調査への看護師の同行</li> <li>・施設内部、外部への研修参加</li> <li>・24Hシートの活用、記録</li> </ul>
・介護技術、知識の向上に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内部研修の充実</li> <li>・発言する力と意欲の向上</li> <li>・統一したケアの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会で課題の検討と評価の実施及び継続</li> <li>・外部講師を招いた研修の実施、内部の伝達と共有</li> <li>・会議、勉強会への主体的な参加</li> </ul>
・地域に必要とされる施設を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動の充実</li> <li>・地域行事への職員参加</li> <li>・地域の活動場所としての定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動の実施とニーズの把握</li> <li>・ボランティア活動の実施</li> <li>・地域の方への活動等の参加呼びかけ、地域交流スペース利用の呼びかけ</li> </ul>

# 1. 各ユニットの年間目標

## ◇ひだまりユニット

『年間目標』 穏やかに過ごせる家 ～入居者様の一日、一日を大切に～

	重点目標
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者、家族の意向を知り、24Hシートを見直しする。</li> <li>・ダイニング、ラウンジのくつろげる空間づくり</li> </ul>
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏を楽しむ企画</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋を楽しむ</li> <li>・24Hシートを見直し、充実を図る</li> </ul>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理に努める</li> <li>・24Hシート見直し</li> </ul>

## ◇せせらぎユニット

『年間目標』 季節を楽しみ、居心地のいい毎日を

	重点目標
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様を知る(意向の聞き取り、24Hシート、記録の確認)</li> <li>・季節を感じ、暮らしやすい環境作り</li> </ul>
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族様を交えての外出、屋外企画で交流を深める</li> <li>・散歩など外の空気、自然を感じてもらう</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旬の食べ物で秋の味覚を楽しむ</li> <li>・居室の整理、整頓</li> </ul>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理に努める</li> <li>・入居者様の暮らしぶりを見直す(意向の反映、24Hシート、記録の確認)</li> </ul>

## ◇ひざしユニット

『年間目標』 「穏やかに過ごし、あなたらしく。」

	重点目標
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の思いを知る</li> <li>・家族との信頼関係を作り、交流を深める</li> </ul>
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏らしい企画をして、旬の食材を食べて季節を楽しむ</li> <li>・外出する機会を増やす</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24Hシートの見直しと反映</li> <li>・秋の味覚を楽しむ</li> </ul>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者、職員の体調管理に気をつける</li> <li>・24Hシートの充実を図る</li> </ul>

## ◇そよかぜユニット

『年間目標』 笑顔があふれる家づくり

	重点目標
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室の整理、整頓をする</li> <li>・一人ひとりのケアプランの把握をする</li> </ul>
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出する機会を増やして、季節を楽しむ</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じられる旬な食べ物で秋の味覚を楽しもう</li> </ul>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者、職員の体調管理に努める</li> </ul>

## ◇いさりびユニット

『年間目標』 Home～あなたらしく笑える落ち着ける場所～

	重点目標
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者を知ろう</li> <li>・ガーデニングの充実(野菜作り)</li> </ul>
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じられる企画をする</li> <li>・収穫し調理して食べる</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べるコミュニケーション</li> <li>秋を楽しむ企画をしよう(鍋、パン作りなど)</li> </ul>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理に気をつける</li> <li>・1年を振り返る</li> <li>・24Hシートの見直し</li> </ul>

## ◇しおさいユニット

『年間目標』 穏やかな1日を過ごそう！！元気いっぱい、笑顔いっぱい

	重点目標
4月～6月	～入居者を知ろう～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者と家族との関わりを持とう</li> <li>・信頼関係を築き、交流を深めよう</li> <li>・部屋を作ろう</li> </ul>
7月～9月	～家族とともに～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と一緒に季節を楽しもう</li> </ul>
10月～12月	～旬を取り入れよう～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・旬のものをおいしく頂こう</li> <li>・入居者に寄り添って話そう</li> </ul>
1月～3月	～穏やかに過ごそう～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理に気をつけよう</li> </ul>

#### 4. 各職種会議計画

会議名	開催	構成メンバー
全体会議	月1回(定例3日13:45~)	全職員
チーフ会議	月1回(定例10日13:30~)	施設長、施設長補佐、生活相談員、ケアマネ 各セクションチーフ
ユニットリーダー会議	月1回(定例10日9時~)	各ユニットリーダー、総括ユニットリーダー
ケアマネミーティング	月1回 (15時45分~)	生活相談員、介護支援専門員
ユニットミーティング	月1回(時間はユニット毎) 第3月曜日 (ひだまり・ひざし・いさりび) 第3木曜日 (せせらぎ・そよかぜ・しおさい)	ケアスタッフ ※司会、記録は交代制 ※会議中の見守りは協力ユニット ※会議はユニット外の場所
医務会議	月1回	看護スタッフ
事務所会議	月1回(全体会議日 9時~)	施設長、施設長補佐、生活相談員、栄養士、 事務員
ケースカンファレンス	短期目標の期間に合わせ開催 (13:30~14:30) 随時	施設長、施設長補佐、生活相談員、介護支援 専門員、看護師、栄養士、ケース担当、入居 者、家族
栄養サポート会議(NST)	月1回	栄養士、看護師、理学療法士
給食会議	月1回	施設長、栄養士、厨房職員

※上記以外の会議(臨時全体会議等)については必要に応じて開催するものとする

#### 5. ユニットリーダー研修実施研修受入に関すること

◇ユニットリーダー受講生受入日程

【第1期】 座学(7/17~7/19) 受講生受入(8/9~)

【第2期】 座学(10/1~10/3) 受講生受入(10/22~)

◇指導者講師・井上圭介(年2~3回)